



令和 8 年 7 月 2 / 日
午前・午後 4 時 28 分 受領

No. 1

令和 8 年 7 月 17 日

議長	事務局長	係
		

あいなん未来議会議長 吉田 茂生 殿

あいなん未来議会議員 渡邊 紗希

あいなん未来議会議員 清家 美羽

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質 問 の 要 旨	答弁を求める者
1. 秋祭りの伝統行事の継承に関する政策について 現在、秋祭りで唐獅子やハツ鹿などの伝統行事を行う地区が減少していると感じます。実際、子ども神輿に参加する小中学生の人数が減少していることや、以前は数組あった唐獅子やハツ鹿も、参加しない地区が出てきたことが寂しいと町民同士で会話を交わす様子を見たことがあります。私たちは、長年町民から愛されている伝統が途絶えてしまうことは、愛南町の活性化につながらなくなると考えます。また、この現状を打開するには、秋祭り参加者の年齢や性別を問わないことや伝統行事を開催するにあたっての地区合併が必要と考えます。この地区合併は、地図上での地区の名称を変えるものではなく、本町での催事の際に、隣接する地区同士で協力関係を構築することを指しています。しかしながら、この改善策を実行するためには慎重な話し合いが必要不可欠になります。そこでお伺いします。 (1) 伝統行事の継承や、そのために行う地区合併において町として支援できることは何があるのでしょうか。	教育長

2.学校と地元企業・社会人との連携について 城辺中学校では「城中家セミナー」という、外部の方を招いて職業に向き合い、他の人の考え方を知ることができる講演会があると調べて分かりました。私は、愛南町の学生には自分たちが知らない職業について学んだり、どのような活躍しているかを知ったりすることで、視野を広げる必要があると考えます。そこで、私たちから次の質問をさせていただきます。 (1) 学校と地元の方が連携した講演会等を開催するに当たって必要な条件は何でしょうか。 (2) 学校側と企業側での連絡先の調整方法として、どのような方法があるでしょうか。	教育長
3.南宇和高校の全国募集に伴う相談しやすい環境づくりについて 現在、南宇和高校では、全国募集開始に伴い、学校の魅力化が進められています。今後、全国各地から多くの県外生等が入学することが予想されます。一方で、初めての土地や新しい環境で、不安や悩みを抱える生徒も増えることが考えられます。愛南町内にも、相談窓口等がありますが、存在を知らなかったり、相談することに抵抗を感じたりする生徒もいるのではないのでしょうか。学習環境や生活環境だけでなく、「安心して相談できる環境」や「地域とのつながり」を充実させることも大切だと考えます。また、全国募集の生徒を「支援される側」ではなく、「地域を変える仲間」にするという考え方を持っていると地域とのつながりも深まると考えます。全国から来た生徒が、魅力を発信する活動をするといいと思っています。例えば、観光PRやSNSなどの活動に参加するなどをすると地域との関わりが自然と増えて孤立しにくいと思います。それらを踏まえ、質問をします。	教育長

(1) 現在、南宇和高校では全国募集に向けて様々な取り組みが行われていますが、「入学したい」と思ってもらうだけでなく、「卒業まで安心して過ごせる学校」にするために、愛南町として今後どのような取り組みを考えていますか。